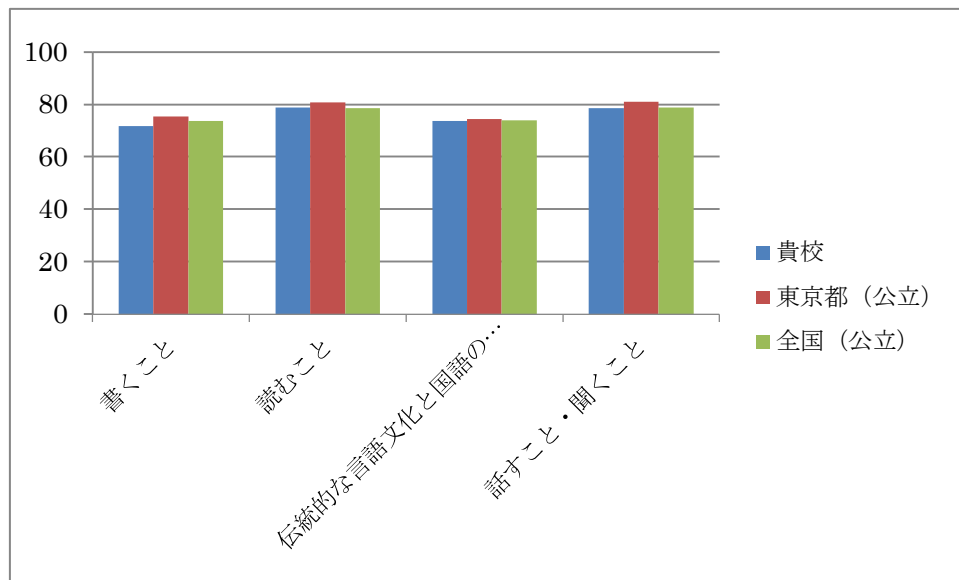


国語（全国学力・学習状況調査）

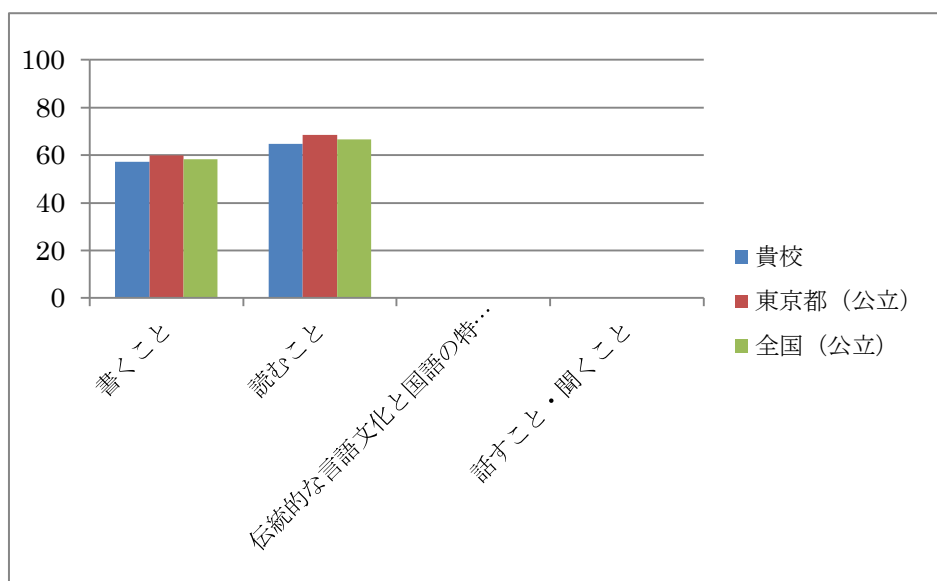
1. 分類ごとの平均正答率

(1) 国語A：主として知識



- ① 「読むこと」以外の観点で、平均点を下回っている。
- ② 「読むこと」の観点では、全国の平均点をわずかに上回っている。国語の授業に限らず、学年で読むことの活動を行った成果だと考えられる。

(2) 国語B：主として活用



- ① 全観点で平均点を下回っている。

2. 調査問題から見た問題

- (1) 書くこと
 - ①必要な情報を読み取り、自分の意見を正確に書くことが難しいようである。
- (2) 読むこと
 - ①文章の構成や展開を読み取り能力が低い。
- (3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
 - ①語彙力が不足している。
- (4) 話すこと・聞くこと
 - ①互いの発言を検討して自分の考えを広げることが苦手である。

3. 指導改善のポイント

- (1) 書くこと
 - ①作文の際に条件を提示する。
 - ②新聞記事などを活用し、自分の意見を正確に書かせる。
- (2) 読むこと
 - ①文章の読み取りを授業の中で頻繁に取り組んでいく。
- (3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
 - ①辞書を引いたり、新聞記事などを読ませたりして、語彙力を増やしていく。
- (4) 話すこと・聞くこと
 - ①授業で話す機会やスピーチなどの場を取り入れる。